

# 都市再生整備計画 モニタリングシート

おとがわ  
乙川リバーフロントQURUWA<sup>せんりやく</sup>戦略地区<sup>だい</sup>（第2期<sup>き</sup>）  
（都市構造再編集集中支援事業）

令和5年〇月  
愛知県 おかざき 岡崎市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	岡崎市		地区名	乙川リバーフロントQURUWA戦略地区(第2期)			面積	157.2ha		
交付期間	令和3年度～令和7年度		事後評価実施予定時期	令和7年度		モニタリング実施時期	令和5年度		交付対象事業費	1,066.4百万円			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業		事業名					事業進捗の状況(順調か、遅れているか)					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路事業、公園事業、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、街なみ環境整備事業					道路事業、公園事業で未着手の事業があるものの全体的には順調であり、指標にその効果が発現されている。					
		提案事業	地域創造支援事業、事業活用調査、まちづくり活動推進事業					事業活用調査で未着手の事業があるものの全体的には順調であり、指標にその効果が発現されている。					
	新たに追加した事業	基幹事業	市街地再開発事業(東岡崎駅北口広場) エリア価値向上整備事業(回遊性向上社会実験)					事業の追加(第1回変更) 事業の追加(第2回変更)					
提案事業		事業活用調査(まちづくりモニタリング事業、景観形成重点地区指定促進事業、立地適正化計画改定事業、交通量調査分析業務) 事業活用調査(駐車場整備地区検討事業)					事業の追加(第1回変更) 事業の追加(第2回変更)						
交付期間の変更	当初	令和3年度～令和7年度		変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針		
			基準年度	目標年度	計測年度								
	指標1	本地区の魅力発揮に関する市民等満足度	%	41.3%	R2	51% → 71%	R7	83.3%	R5	あり ● なし	基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、十分効果が発現した。	引き続き満足度の高い区域となるよう、各種事業を推進する。	
	指標2	地区中央部の橋梁(歩道、人道橋)を往来する人数	人/日(12h)	5,065人	R2	6,000人 → 7,600人	R7	9,041人/日	R5	あり ● なし	基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、十分効果が発現した。	引き続き歩いて楽しいウォークアブルな空間づくりを推進する。	
	指標3	岡崎公園を訪れる観光客数	人/年	19.6万人	R1	20万人	R7	9.7万人	R4	あり ● なし	岡崎城リニューアルオープンのための休館で利用者数が伸びなかった。	岡崎公園にかかる事業を促進する。	
	指標4	東岡崎駅の降客数	人/日	19,715人/日	R1	20,400人/日	R7	16,848人/日	R4	あり ● なし	新型コロナウイルス感染拡大防止対策による公共交通の利用者減少が大きく影響。	東岡崎駅及び周辺の利便性を向上させ定住化を推進し、公共交通の利用促進を図る。	
	指標5	QURUWA上の路線価	千円/㎡	110.0千円/㎡	R2	110.3千円/㎡ → 113.4千円/㎡	R7	112.5千円/㎡	R5	あり ● なし	基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、地区の魅力が向上した。	引き続き高い事業効果が得られるよう、各種事業を推進する。	
	指標6	QURUWA上の公共空間を活用した民間事業活動日数	人/年	204日/年	R1	300日/年 → 365日/年	R7	557日/年	R4	あり ● なし	基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、活動のすそ野が拡大している。	活動日数を増やすだけでなく発現した問題課題に対応し、質の向上を目指す。	
指標7	計画区域内居住率	%	2.38%	R2	2.40% → 2.50%	R7	2.44%	R5	あり ● なし	基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、地区の魅力が向上した。	民間による住宅建設や供給を支援する。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針等		
			基準年度	目標年度	計測年度								
	その他の数値指標1												
その他の数値指標2													
4) 定性的な効果発現状況	籠田公園を始めとして、公共空間の利活用が多岐にわたって広がりを見せており、ハード事業とソフト事業の効果が発現し、市民に広がっていると考えられる。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	R5年度に中間モニタリング実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					● ●	事後評価時にモニタリングを実施する。	
	官民連携による取組	関連事業の官民連携まちづくり支援事業による官民連携の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない					● ●	継続的に、積極的に官民連携による取組を推進する。	
持続的なまちづくり体制の構築	関連事業の都市再生推進法人によるまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない					●	都市再生推進法人等との連携を推進する。		
6) モニタリングの所見	総合所見	順調	●		要改善	一部に未着手の事業があるが、指標の達成状況も全般的に良いことから事業は順調に進んでいると考える。					今後の事業の改善点	実施中の事業があることから、今後も都市再生整備計画事業にかかる庁内関係課との連携を図り、着実な事業推進に取り組む。 また、公共空間の利活用など、地域主体のまちづくりの推進を図る。 都市再生整備計画の掲載事業の進捗状況や今後の実施状況を確認し、事業費等の変更を行う場合に見直しを行うこととする。	

# 都市再生整備計画 モニタリングシート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

## (5) 有識者等からの意見聴取

- 添付様式6 有識者等からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		本地区の魅力発揮に関する市民等満足度 51%	本地区の魅力発揮に関する市民等満足度 71%	中間モニタリング時に目標値を達成したため
	●		地区中央部の橋梁(歩道、人道橋)を往来する人数 6,000人	地区中央部の橋梁(歩道、人道橋)を往来する人数 7,600人	中間モニタリング時に目標値を達成したため
	●		QURUWA上の路線価 110.3千円/㎡	QURUWA上の路線価 113.4千円/㎡	中間モニタリング時に目標値を達成したため
	●		QURUWA上の公共空間を活用した民間事業活動日数 300日	QURUWA上の公共空間を活用した民間事業活動日数 365日	中間モニタリング時に目標値を達成したため
	●		計画区域内居住率 2.38%	計画区域内居住率 2.50%	中間モニタリング時に目標値を達成したため
D. その他( )					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	市道(PPP活用拠点形成事業関連)	176	L=140m	176.0	L=140m		影響なし	●			状況により実施時期を判断
公園	乙川河川緑地	100	L=80m、W=7m	100.0	L=80m、W=7m		影響なし	●			状況により実施時期を判断
地域生活基盤施設	案内板、サイン	51	1式	51.0	1式		影響なし		●		R7完成に向けて事業推進
地域生活基盤施設	総構え位置表示板等	2	1式	2.0	1式		影響なし	●			状況により継続の可否を判断
高質空間形成施設	プロムナード	96	2,103㎡	94.0	2,103㎡		影響なし			●	計画通りに完成
高質空間形成施設	人流分析カメラ等	48	1式	48.0	1式		影響なし		●		R7完成に向けて事業推進
高質空間形成施設	東岡崎駅前広場(バリアフリー対応公衆トイレ)	17	1式	24.0	1式		影響なし			●	計画通りに完成
高質空間形成施設	岡崎公園(バリアフリー対応公衆トイレ)			26.4	1式	事業の追加(第1回変更)	影響なし			●	計画通りに完成
市街地再開発事業	東岡崎駅北口地区			552.0	5,900㎡ (事業費は交付期間内事業費)	事業の追加(第1回変更)	影響なし		●		R7完成に向けて事業推進
エリア価値向上整備事業	回遊性向上社会実験			18.0	1式	事業の追加(第2回変更)	影響なし		●		状況により継続の可否を判断

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造支援事業	健康増進施設整備	10	1式	10.0	1式		影響なし			●	R3に完成
事業活用調査	まちづくりモニタリング事業	34	1式	27.0	1式	地域創造支援事業から変更 (第1回変更)	影響なし		●		状況により継続の可否を判断
	景観形成重点地区指定促進事業	24	1式	25.0	1式	街なみ環境整備事業から変更 (第1回変更)	影響なし		●		R7完成に向けて事業推進
	立地適正化計画改定事業	19	1式	23.0	1式	事業の追加(第1回変更)	影響なし		●		R7完成に向けて事業推進
	駐車場整備地区検討事業	5	1式	9.0	1式	事業の追加(第2回変更)	影響なし		●		R5検討事業完了
	交通量調査分析業務	9	1式	10.0	1式	事業の追加(第1回変更)	影響なし			●	R5完成
まちづくり活動推進事業	岡崎城跡調査情報発信事業	54	1式 (事業費は交付期間内事業費)	55.0	1式 (事業費は交付期間内事業費)		影響なし		●		R7完成に向けて事業推進

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時		
岡崎市QURUWAプロジェクト(PPP活用拠点形成事業)		太陽の城跡地 A=7,700㎡			令和1年度～令和5年度	令和1年度～令和7年度	状況により実施時期を判断	
岡崎市QURUWAプロジェクト(PPP活用拠点形成事業)(暫定駐車場)		りぶら東第2駐車場 A=11,000㎡			令和4年度～令和7年度	令和4年度～令和7年度	状況により継続の可否を判断	
岡崎市QURUWAプロジェクト(道路再構築事業)		康生通り 1式			令和3年度～令和7年度	令和3年度～令和7年度	状況により継続の可否を判断	
岡崎市QURUWAプロジェクト(道路再構築事業)		連尺通り 1式			令和3年度～令和7年度	令和3年度～令和7年度	状況により継続の可否を判断	
岡崎市QURUWAプロジェクト(PPP活用公園運営事業)		桜城橋橋上広場、橋詰広場 1式			令和1年度～令和5年度	令和1年度～令和7年度	事業の進め方を検討する	
歴史まちづくり事業		1式			平成29年度～令和7年度	平成29年度～令和7年度	R7に向けて事業の推進	
観光推進事業		1式			平成29年度～令和5年度	平成29年度～令和5年度	状況により継続の可否を判断	
まちづくりデザイン事業		1式			令和3年度～令和4年度	令和3年度～令和7年度	R7に向けて事業の推進	
まちづくりデザインプロモーション事業		1式			令和3年度～令和4年度	令和3年度～令和7年度	R7に向けて事業の推進	
公民連携まちづくり支援事業		1式			令和3年度～令和6年度	令和3年度～令和7年度	R7に向けて事業の推進	
東岡崎駅北口駅前広場整備計画事業		1式			平成22年度～令和9年度	平成22年度～令和11年度	R6以降基幹事業に追加予定	
優良建築物等整備事業		1式			令和4年度～令和8年度	令和5年度～令和11年度	R6以降基幹事業に追加予定	
都市再生推進法人による歩道空間活用事業(康生通り)		康生通り 1式			令和3年度～令和7年度	令和3年度～令和7年度	状況により継続の可否を判断	
都市再生推進法人による歩道空間活用事業(連尺通り)等		連尺通り・市民会館通り・二七市通り(八幡通り) 1式			令和3年度～令和7年度	令和3年度～令和7年度	状況により継続の可否を判断	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		現段階での目標達成見込み		総合所見	今後の方針
			基準年度		基準年度	基準年度	目標年度	実施年度	あり	なし				
指標1	%	市民、観光客アンケート(対面方式)による満足度評価(「だいたい満足」「たいへん満足」と回答した人の割合)			41.3%	R2	71.0%	R7	83.3%	R5	●		基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、十分効果が発現した。	引き続き満足度の高い区域となるよう、各種事業を推進する。
指標2	人/日(12h)	週末(12h)における殿橋、明代橋、潜水橋、桜城橋の歩行者、自転車数を計測			5,065人	R2	7,600人	R7	9,041	R5	●		基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、十分効果が発現した。	引き続き歩いて楽しいウォーカブルな空間づくりを推進する。
指標3	人/年	愛知県観光レクリエーション利用者統計を用いて、岡崎城の入場者数を計測する。			19.6万人	R1	20万人	R7	9.7万人	R4	●		岡崎城リニューアルオープンのための休館で利用者数が伸びなかった。	岡崎公園にかかる事業を促進する。
指標4	人/日	岡崎市統計より、東岡崎駅の1日当たり乗降客数を計測する。			19,715人/日	R1	20,400人/日	R7	16,848人/日	R4	●		新型コロナウイルス感染拡大防止対策による公共交通の利用者減少が大きく影響。	東岡崎駅及び周辺の利便性を向上させ定住化を推進し、公共交通の利用促進を図る。
指標5	千円/m <sup>2</sup>	QURUWA上の主要な公共空間における平均路線価を計測する。			110.0千円/m <sup>2</sup>	R2	113.4千円/m <sup>2</sup>	R7	112.5千円/m <sup>2</sup>	R5	●		基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、地区の魅力が向上した。	引き続き高い事業効果が得られるよう、各種事業を推進する。
指標6	人/年	QURUWA上の公共空間を利活用した民間事業活動日数			204日/年	R1	365日/年	R7	557日/年	R4	●		基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、活動のすそ野が拡大している。	活動日数を増やすだけでなく発現した問題課題に対応し、質の向上を目指す。
指標7	%	計画区域内居住率			2.38%	R2	2.50%	R7	2.44%	R5	●		基幹事業や提案事業等が市民の生活の中に広がり、地区の魅力が向上した。	民間による住宅建設や供給を支援する。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		本指標を取り上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準年度		基準年度	目標年度	実施年度						
その他の数値指標1													
その他の数値指標2													
その他の数値指標3													

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

籠田公園を始めとして、公共空間の利活用が多岐にわたって広がりを見せており、ハード事業とソフト事業の効果が発現し、市民に広がっていると考えられる。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
中間評価(モニタリング)の実施	予定どおり実施した	令和5年度に中間評価(モニタリング)を実施	中間評価により交付期間中に共用した事業の効果を確認することが出来た。また数値指標が目標値を超えているものについては見直しすることが出来た。
	予定はなかったが実施した		

### 添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
QURUWAフォーラム・シンポジウム	予定どおり実施した	●【実施時期】平成27年～ 【実施回数】計18回(R5年度末現在) 【実施結果】フォーラムやシンポジウムを通し、まちづくりの普及啓発に努めた。	今後もフォーラムやシンポジウムを開催し、普及啓発に努めながら、そこで出た市民の意見を取り入れながら公民連携したまちづくりを推進する。
	予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない		
KCBR	予定どおり実施した	●【実施時期】令和元年～ 【実施頻度】月1回 令和5年度より隔月開催 【実施結果】地域主催の、まちづくりに興味がある人たちが参加し易いプラットフォームが機能することにより、関わる人たちのすそ野が広がり、多世代で多種多様な参画が可能となった。	今後も地域住民を中心とする会議を続けられるよう支援を続け、地域課題の解決を図っていく。
	予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン会議	予定どおり実施した	●乙川リバーフロント地区のまちづくりについて、クオリティをコントロールし、民間主体の公民連携事業に対応できる庁内の部署横断体制を構築する。	【実施頻度】年3～4回 専門家や拠点事業者、都市再生推進法人を交えた乙川リバーフロント地区の整備全般に関する意見交換の場を設ける。	引き続き、様々な立場、観点から意見交換ができる会議を開催し、民間主体の公民連携事業を推進しながら持続可能なまちづくりに取り組む。
	予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない			
乙川リバーフロント地区かわまちづくり協議会	予定どおり実施した	●市、民間事業者、市民が河川管理者と連携して事業を推進するため、かわまちづくり支援制度に登録を行い、協議会を発足し河川管理者から河川の占用許可を受ける。	【実施回数】計28回(令和5年度末現在) 河川空間の利活用に関しての方針決定を行う、官民を交えた協議会を開催する。	今後も民間のかわまちづくり実行委員会と連携し、民間主体のかわまちづくりを支援することで、多様な魅力あふれるプログラムを実施し、来街者の増加やまちへの回遊の実現につなげる。
	予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない			







(4)モニタリングの所見

添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき残された課題	交付期間中に発生した新たな課題
1期計画で整備した公共空間の民間事業者等による利活用の促進及び周辺民有地への民間投資の誘導	公共空間の民間事業者日数は多くっており利活用の促進が図られている。また民間事業者等の投資機運が高まってきている	公共空間の利活用を統括する仕組みや窓口の一本化など運用面の整理が課題	公園の改修に伴い多くの利活用が見られた結果、騒音やゴミの問題などが現れたが、地域との協議により解決に向かっている。今後は利活用の件数を確保するだけでなく質の向上や周辺住民への配慮も含めたマネジメントが必要  東岡崎駅において、市街地整備事業だけでなく自由通路整備についての議論が本格化し、2030年完成に向けて適切な進捗管理が必要  主要回遊動線を担う高質空間として再整備された中央緑道沿線にて民間開発の動きが出てきており、公共空間と相乗効果が期待できる一体的で魅力的な拠点形成と、住環境整備の誘導が必要  関連事業に位置付けているPPP活用拠点形成事業(太陽の城跡地活用)がコロナ禍等の社会状況の変化により事業見直しとなり、関連事業を含めた再検討が必要
公共空間及び周辺民有地における居心地の良いウォーカブルな空間づくりによる回遊性の向上	籠田公園やプロムナードなどの整備と活用が図られウォーカブルな空間づくりと回遊性の向上が図られている	新たな店舗等が増えてきているが店舗の1階部分の演出の連続性の確保が課題	
スマートシティ事業との連携による更なる民間投資の誘導	人流分析カメラを設置し、毎年の人流の把握及びデータの蓄積が進んでいる	民間投資誘導につながるデータ活用の模索とその方策の実践	
都市拠点である東岡崎駅周辺地区における土地利用の促進	令和3年11月に岡崎市と名古屋鉄道で協定を結び、市街地再開発事業が始まった	2030年竣工に向け、各種事業計画及び設計、工事を適切に進行する必要がある	
都市機能の誘導による生活機能サービス等の充実及び周辺区域の居住誘導	居住率が高まっていることから一定の居住誘導は効果が発現している	引き続き民間の投資機運を高め、新規出店や開発の促進を図る必要がある	
歴史文化遺産等の既存ストックの更なる活用	岡崎城跡調査情報発信事業等が順調に進んでおり既存ストックの活用が図られている	事業の継続的な実施が課題	
公民連携による更なる高質な都市空間の形成と景観形成	ハード事業の整備や歴史文化資源活用など高質な都市空間や景観形成が図られている	ウォーカブルなまちづくりの1階部分の景観誘導等が必要	

添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点	
		具体的項目	内容
順調	●	事業の進め方の工夫	
計画・事業の進め方の改善が必要		事業の進め方の工夫	
一部に未着手の事業があるが、指標の達成状況も全般的に良いことから事業は順調に進んでいると考える。 まちの課題の変化などを踏まえ、計画を一部見直ししながら事業の進捗を図る。	都市再生整備計画の見直しの必要性	基幹事業 道路:市道(PPP活用拠点形成事業関連)、公園:乙川河川緑地 関連事業 PPP活用拠点形成事業(太陽の城跡地)の事業時期の見直し	PPP活用拠点形成事業(太陽の城跡地)の事業時期の見直しに伴い、基幹事業の道路、公園事業の実施時期を遅らせる(R8年度以降の予定となるため、2期計画からは削除する)とともに、関連事業としてのPPP活用拠点形成検討事業(太陽の城跡地)の事業時期の見直しを図り、提案事業として事業活用調査事業追加を検討する。
		基幹事業 地域生活基盤施設(人工地盤等)の追加	名古屋鉄道と協議が進んだことにより、具体的な事業の目途が立ったため、都市再生整備計画の基幹事業に位置付け計画的な事業の進捗を図る。
		基幹事業 優良建築物等整備事業の追加	中央緑道沿線の民間開発について、都市再生整備計画に位置付けウォーカブルなまちなか空間の形成に向けて、連携して事業を進める。

(6) 有識者等からの意見聴取

添付様式6 有識者等からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--